

わ げん あい ご

# 和顔愛語

2008  
VOL.12

 真生会富山病院だより



射水市コミュニティバス  
「きとぎとバス」  
新ダイヤで運行

真生会富山病院への  
路線（大島・柳田循  
環線(その1)、大門・  
大島循環線(その1)、  
二口・水戸田循環  
線(その1)、小杉  
地区循環線）本  
数も増え、便利  
にご利用できる  
ようになりました。



フレッシュセミナー

新しく入職した職員（全職種）  
を対象に、フレッシュセミナー  
が開催され、「社会人としての  
心構え」をはじめ、業務に役  
立つ参加型研修を通して、  
自己啓発や人間形成の  
場として学びました。



「防災訓練」実施

射水市消防署の協力をいただいて自衛消防訓  
練を実施しました。防火に対する知識と防火  
意識の高揚を図るため、院内消火栓ホースを  
使っての防水訓練やバケツリレーの消火活動  
を本番さながらの真剣な表情で訓練に取り組み、  
訓練の重要性と防火意識を改めて見直しました。



看護の日

5月12日は、ナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」に制定されています。看護部では、総合受付前ロビーで、健康相談、血圧、血糖、体脂肪などの測定コーナーを設け、地域の皆様に、看護の心を届けました。これからも真生会富山病院看護部は、和顔愛語をモットーにやささと笑顔で、皆様に満足していただける医療サービスを提供していきます。



情熱の白衣 外科医師

ふる たに まさ はる  
古谷 正晴

## 小児科新体制でスタート

●インタビュー  
看護部 看護部長 上条 孝子  
かみじょう たか こ



小児科医師  
よしざき たつ お  
吉崎 達郎

INTERVIEW

8

外科医師 ふる たに まさはる 古谷 正晴

●インタビューー かみ じょう たか こ 看護部 さくら病棟課長 上條 孝子

# 患者様に優しく丁寧な手術を心がけ

## 外科医は常に謙虚でなければならぬ

医療は本来不確実なものですから、100%安全な手術というものはあり得ません。100%に近づける努力を日々積み重ねることが医師の使命だと考えます。

医師になろうと思われたきっかけはどのようなことだったのでしょうか。また、外科を選ばれた理由や手術についてお聞かせください。

親も親戚も含めて家系に医者是一人もいなかったのですが、幼稚園に行く頃からなぜか人体のしくみに深い関心がありました。『人体と保健の図鑑』という本をバラバラになるまで繰り返し読んでいた記憶があります。小学生に上がった頃から漠然と将来は医者になりたいと思っていました。高校生になって進路に悩みましたが、最終的には人命を預かる医師が最もやり甲斐がある仕事と考え、京都大学医学部に進学しました。同級生に心療内科の明橋医師がいました。

最初は基礎医学の学者になろうかとも考えていましたが、当時は消化器癌の拡大手術全盛時代で、その勢いと明るい雰囲気に着かれて消化器外科を選びました。大学病院で1年間研修を受けた後、福井赤十字病院に4年間勤務しました。当時の外科部長には手術の基礎から手取り足取り教えてもらいました。今でも大変

感謝しています。

その後、京都大学大学院に戻って肝臓癌の基礎的な研究を行った後、

大学病院の助手（今の助教）になって肝臓外科の手術、教育、そして研究に携わるようになりました。大学に残ることも考えていましたが、故中野前院長からお誘いを頂き、真生会富山病院の理念に深い感銘を受けて、平成12年の病院オープン時に外科を立ち上げるため本多医局長と二人でこちらに参りました。

専門は肝臓外科、胃外科など消化器外科・一般外科です。胆嚢、大腸、虫垂炎、それいヘルニアなどの手術も行います。また、腹部のCT、MRIの読影を担当しています。

当院に移ってきてからも肝臓の切除手術は積極的にやっています。肝臓の中には血管が網目のように走っていますので、手術は出血との戦いです。京大病院で使っているのと同じ特注の止血器具を京都から取



外科医師 ふる たに まさはる 古谷 正晴

【専門分野】  
消化器外科、肝臓外科、胃癌、大腸癌手術  
消化器癌の抗がん剤治療  
膵膵、大腿ヘルニア手術、創傷の湿潤治療

【所属学会】  
日本肝胆膵外科学会評議員

【認定医・専門医】  
日本外科学会専門医  
日本消化器外科認定医  
医学博士

り寄せて、丹念に止血しながら4、5時間かけて手術をします。出血量は大体500グラム以下で輸血もほとんど必要がありません。手術後は病院に泊まり込んで管理し、10日から2週間程度で退院されることが多いです。手術後に出血したり、肝不全になったりしたことは一度もありません。

真生会富山病院に勤務して思うことはありますか

今まで勤務してきた病院では手術患者様が次から次へと紹介されてきて、手術できて当たり前と思っていました。しかし、一から外科を立ち上げてみて、手術をさせて頂くというのは大変なことだと気付きました。他の公的病院ではなく、真生会富山病院の外科を信頼して命を預けて下さる患者様には本当に有り難く思います。



# 患者様と医師との信頼関係を大切に みなさんの協力のおかげで外科の診療ができるのです。

それとチームワークの大切さです。外科医だけでは何もできません。手術患者様を紹介してくださる開業医の先生方、当院内科・消化器内科の医師、手術室・外来・病棟の看護師、その他のコメディカル・スタッフ、みなさんの協力のおかげで外科の診療ができるのだということも思い知らされました。特に消化器内科の医師とは密に連携し、速やかに手術ができるように努力しています。

**日々、診療で心がけていることがあればお聞かせください**

真生会富山病院の理念「仏法に説かれている自利利他の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。」に尽きます。患者様第一の医療を実践する。当然のことですが、自分のことは二の次、三の次で、患者様にとって一番いいことをし、悪いことは決してしない。言うは易く行うは難しです。説明と同意には力を入れていきます。患者様のお話をよく聞かせて頂き、患者様の体力、内科的な病気、生活環境、家族構成など総合的に診せて頂き、治療方針を決定するようにしています。手術の説明は最低2回、がんの手術の場合などはたっぷり時間をとってわかりやすい説明に努めています。

患者様に優しい手術、出血の少ない丁寧

な手術を心がけていますが、身体にメスを入れ、臓器を切り取ったりするわけですから、身体に必ずダメージを与えます。「自分が手術で治してやるう」などという傲慢な態度では外科医失格です。外科医は謙虚でなければならぬと常に自戒しております。

**外科医は、常に人の命を預かる最前線にあるわけですが、忘れられない出来事などあればお話しいただきたいと思っています。**

外科医には日曜も正月もありません。夜中に呼び出されて緊急手術をすることも度々あります。いやな顔もせず出勤して介助してくれる手術室看護師には本当に感謝しています。外科医にとって一番つらいことは、手術した患者様の経過が思わしくないことです。自分が手術したのですから、すべて自分の責任です。「あの時こうすればよかった」と夜も眠れず、夢にまで見ます。逆に、患者様が全快されて退院される時の笑顔を見た時には今までの苦労が吹き飛んでとても幸福な気分になります。

忘れられない患者様があります。私がまだ大学病院にいた時に受け持っていたある肝臓癌の患者様です。手術は教授が執刀し、私はその助手をしました。私が他の病院に移ってから時々電話で相談を受けていました。不幸にも再発され、教授から手術を勧められたのですが、それを断って、私に手術をしてもらいたいと大阪から富山まで来られたのです。患者様と医師との信頼関係の大切さを痛感しました。当院で肝切除をさせて頂き、最初の手術から今年で10年になります。

今も元気にしておられます。

**古谷先生は最新の技術を日々どのようにして学んでおられるのでしょうか。また外科分野の最新技術などあれば教えてください。**

学会や新刊書、インターネットなどで最新の情報には常にアンテナを張っています。京大病院や東京の病院にも研修に行きました。

常に工夫、改善をして、より安全性の高い、合併症の起こりにくい手術法に変えています。富山に来てからも手術のやり方が随分変わりました。一例を挙げますと、そけいヘルニアは最初メッシュプラグ法で手術していましたが、再発例がありました。どうすれば再発を防げるかを考えて今のクゲル法にたどり着きました。この方法に変えてから再発は一例もありません。また、外科外来には、けがの患者様が多く来られますが、湿潤治療という新しい治療を行っています。治療の際の痛みが少なく、速くきれいに治るのでとても好評です。

**毎朝の休まらない日々を送っておられると思いますが、心身のリフレッシュはどのようにされていますでしょうか。**

1年前からクラシック音楽をよく聴いています。特にモーツァルトのピアノ協奏曲が好きです。心が落ち着くので手術の時のBGMはクラシックです。また、最近スポーツジムに通うようになりました。今年48歳になりましたが、身体を鍛えて1年でも長く皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。



看護部 さくら病棟師長

かみじょう たかこ  
**上條 孝子**

患者様が必要とされている看護を提供していくために、現任教育の体制を整え、看護の質の向上に努めていきたいと思っております。看護師一人ひとりが質を高めるという目的を共有し、患者様が何を望んでおられるか、患者様の言葉に耳を傾けサポートしていくことで患者様の安心、満足へと繋げていきたいと思っております。

# 新体制で小児科開設

子どものいじり……ご相談ください。



小児科医師  
よし ざき たつ お  
**吉崎 達郎**

【専門分野】  
小児プライマリケア  
【所属学会】  
日本小児科学会、日本外来小児科学会  
日本小児救急医学会  
【資格】  
AHA認定PALSプロバイダー

## 小児科開設にあたって

小児の病気で特に多いのが気管支炎・肺炎・ぜんそく・腸炎ですが、入院を要する病状の重い子どもを多く診てきました。未熟児医療や脳炎・脳症などの重症疾患の診療にも携わり、国立循環器病センターや神経・てんかん医療センターにも短期研修に行き、幅広く研鑽を行っております。医師1名でするので出来ることは限られていますが、耳鼻科・眼科・皮膚科・整形外科・外科・泌尿器科・歯科と連携し「子どものことなら、真生会に行けば何とかなる」と思って頂けるように頑張りたいと思います。

趣味はスイーツ(食べるのが得意、作るのニガテ)。食べてばかりでは太るので、運動不足解消を兼ねてジムに通う。健康維持にも余念がない34歳。

小児科では、一般に小児「内科」領域の疾患を扱います。小児科医は病気のことはかりでなく、子育てや予防医学にも関わっておりますので、「こんなことを尋ねてよいのかしら?」と思われることも多く相談ください。当院には多領域にわたる「専門医」がおりますので、ほとんどの疾患をカバーすることが出来ます。必要であれば外科系医師との連携もできます。お子さまをどの科で診てもらえばよいかわからない時には、まず小児科にご相談ください。



## 医療内容

- 新生児期から幼児期、学童期、思春期にいたる小児の一般・身体的疾患について診療を行います。
- 対象年齢は12歳までですが、場合によっては、15歳までのお子さまに対しても関連各科と連携をとりながら診療を行います。

## 乳幼児予防接種(完全予約制)

毎週木曜日 午後2時～午後3時

- 詳しくは 小児科外来直通 TEL 0766-52-6018

かぜなどの一般診療と健康な方のための予防接種の時間を合わせる為、予約制ですので安心して予防接種を受けることができます。

## 《診察を受けるとき》

お子さんの様子をよく知っている人が連れてきてください。誰かに頼むときは経過を書いたメモを渡すなど、できるだけ多くの情報を伝えてください。

### ● 持ってくるもの

- ・ 母子手帳、保険証、診察券。特に母子手帳は大切な情報源です。
- ・ 熱のある子はメモか熱型グラフを忘れずに持ってきてください。
- ・ 便がおかしい時は持ってきて見せてください。
- ・ 他の診療所や病院でもらっている薬があれば持ってきてください。
- ・ 哺乳びんやお気に入りのおもちゃ、絵本、もちろんおむつも忘れず。

### ● 待合室で

- ・ 診察前に食べ物や飲み物を与えないでください。診察の時に吐いたり口の中に残っていてよく見えなかったりします。

- ・ おしっこがしたくなったら受付に知らせてください。先に検査する場合があります。

### ● 診察室で教えてほしいこと

- 1 いま一番気になる症状は何ですか？
- 2 その症状はいつからはじまりどのよう経過しましたか？
- 3 その他の気になる症状は何ですか？
- 4 今までにした大きな病気、薬のアレルギー、家族に同じような症状がなかったか、なごもあれば教えてください。

### ● 次の診察までに

お薬は指示されたとおり飲ませるようにしましょう。勝手にやめたりしないで疑問があるときはお問い合せください。次に受診するのは、特に指示がない場合は薬がなくなる日ですが、症状に変化のある場合やいつもと様子が違い心配な場合は早めに受診してください。

## 子どものメタボリックシンドローム

小児肥満によって、さまざまな病気が起きています。いびきや、呼吸障害、高血圧、高脂血症、糖尿病などなど、合併症を引き起こす原因にもなります。肥満のために不登校になったり、特に、重度肥満になれば、精神面への影響も大きくなります。育ち盛りの子どもに、食べ物、飲み物のコントロールは忍び難いものがありますが、学童期に増えてしまった脂肪細胞は、成人後も引き継がれ脂肪細胞は変わりにくいと考えられています。「子は親の鏡、親は子の鏡」ご家族揃って、メタボ予防で、生き生き健康家族をめざしましょう。

## 小児メタボリックシンドローム診断基準

小児(6~15歳)の場合は腹囲80cm以上に加えて、脂質異常、血圧、空腹時血糖のいずれか2項目以上が基準値以上の場合、メタボリックシンドロームと診断されます。

[腹部肥満]	腹囲80cm以上(中学生)	腹囲75cm以上(小学生)
[脂質異常]	中性肥脂肪 120mg/dl以上	HDLコレステロール 40mg/dl未満のいずれか、または両方
[血圧]	収縮期血圧 125mmHg以上	拡張期血圧 70mmHg以上のいずれか、または両方
[空腹期血糖]	100mg/dl	

小児の場合、腹囲÷身長が0.5を上回る場合も腹部肥満と考えられる。

## 子どものメタボ対策

### 食生活の見直し

- 家族一緒に食事をとる
- 一緒に食事の準備やかたづけをする
- 毎日必ず朝ごはんを食べる
- いろいろな食品をとる／主食(ごはん、パン、麺)、主菜(肉、魚、卵、大豆料理)に加え、牛乳、乳製品、果物など
- 野菜を食べる
- 脂肪をとりすぎない
- お菓子を食べすぎない
- 好き嫌いなく食べる
- よくかんでゆっくり食べる

### 運動習慣の見直し

ちょっと体格の良すぎるお子さんをお持ちのお母さんは、お子さんが体育の授業に出席しているか、休み時間に外に出て遊んでいるかなど確認してください。もし運動不足の場合は、その原因をつきとめ、対策をとることが重要です。家でのテレビゲームなどはほどほどにしましょう。できれば、お子さまと一緒に体を使って遊びたいものです。1日20分ほど体を使って遊ぶことは、適度な運動になり、お子さまだけでなく大人のメタボ対策としても有効です。



看護師  
たかはし れな  
高橋 玲奈

看護部の高橋玲奈です。4月から小児科スタッフとして働かせて頂く事になりました。小児科を受診された、お子さんやお父さん・お母さんが笑顔で病院を後にされるよう、お手伝いさせて頂きたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



看護師  
おた みゆき  
太田 美由起

子供たちとそのご家族の気持ちをくみ取り、安心して治療が受けられるよう笑顔で看護をしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。



看護師  
ふくみつ さな  
福光 佐奈加

患者様とそのご家族が安心して診察治療を受けられるよう丁寧な看護をしたいと思えます。よろしくお願いいたします。



医事課  
おおぶち なつみ  
大淵 奈津美

真生会から小児科がなくなってから数年…地域の皆様には大変ご不便をかけておりました。小児の患者様をお断りする受付の私たちも、いつも心苦しい思いで一杯でしたが、4月より吉崎先生を迎え、新体制の下スタートすることができ嬉しく思っています。南館が建つまでは消化器内科と併設です。医師が1人の為、24時間の救急の体制はとれないのですが、1人でも多くの小児の患者様の健康をお守りする手助けができるよう、私たち医事課も細やかな心配りをしてまいります。

## 《お薬の飲ませ方》

最初から上手にお薬を飲めるわけではありません。お子さんにあつた飲み方を探して飲ませましょう。

### 飲ませる前に

●お子さんの好みを医師に教えてください。水薬か粉薬か、あるいは座薬か錠剤か、最初に失敗すると飲んでくれなくなる場合がありますので、これが大切なポイントになります。

●いまままでに薬で具合が悪くなったたり発疹が出たことがある場合は必ず伝えてください。

### 水薬

ビンをよく振って、1回分をスポットやスプーンで与えてください。ビンから直接飲ませると、残った薬が不衛生になりますのでやめてください。飲みにくそうな時は、水で薄めてもかまいませんが、薬の量は守りましょう。飲んだ後は、水やぬるま湯を飲ませましょう。

### 粉薬

●スプーンで与える場合  
スプーンに薬を取り、少量の水かぬるま湯を加えてよく混ぜてそのまま静かに飲ませてください。

●手で与える場合  
手をキレイに洗って、小皿で薬を少量の水で練り、子どもの手あごに塗りつけたあと、水かぬるま湯などを飲ませてください。

●乳児の場合  
少量の水で練り、上あごに塗りつけたあと、ミルクや母乳を飲ませてください。

●錠剤・カプセル  
小さな錠剤やカプセルを処方することがあります。初めに水を少し含ませてから飲ませると飲みやすいです。飲めない時は、つぶすか、カプセルであれば中身を出して与えてください。

●座薬  
水やオイルでぬらしてから挿入すると痛くありません。できるだけ排便後に挿入し、挿入してから1〜2分くらいティッシュで肛門を抑えてください。入れた後、肛門付近をなでるようにマッサージすると出にくくなります。



# フレッシュセミナー

患者様から喜ばれる心のこもった、安心と満足の医療を提供できるように、入職した職員(全職種)を対象に、フレッシュセミナーやオリエンテーションを行います。「社会人としての心構え」「接遇のマナー」「病院理念」「職員としての姿勢」などをテーマに、グループ討論やロールプレイング等を中心とした参加型研修を行っています。自己啓発や人間形成の場として学びます。

## 新人職員研修

### フレッシュセミナーを終えて



4月から眼科医として真生会富山病院に勤めさせていただきます、植田芳樹といいます。大阪大学を平成18年に卒業し、大阪の市立堺病院で2年間の研修の後、こちらに来させて頂くこととなりました。この病院は、規模もそれ程大きくありませんし、大学病院のような最先端の治療を常に提供できるわけでもありません。しかし、「親切」「礼儀」という面ではおそらく日本一なのではないかと思えます。医療技術や知識は大切です。それがなければ患者さんに満足して頂く治療はできません。しかし、爽やかな挨拶や笑顔によって患者さんが受ける「心の満足感」はそれと同様に大切だと思えます。

まずは眼科医としての力をしっかりつける、と同時に病院の方々全員から、自利利他の精神、礼儀を学び、目も心も治せる医師を目指したいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



眼科医師  
うえ た よし き  
植田 芳樹

再就職が不安で悩んでいた時、富山県看護協会の再就職支援研修会を知り、真生会富山病院で研修してもらいました。家族や知人から「真生会の職員の人には本当に親切だ」と聞き、ぜひ私も一緒に働きたいと思っていました。フレッシュセミナーを通して、病院の理念に共感し、患者様が満足して退院していられる様子を実際に目にしました。私も初心を忘れず、患者様に優しい笑顔で接し、安心と満足を与えられる看護師になれるようがんばっていききたいと思います。また豊富な知識と正確な技術を身につけ、信頼される看護師を目指します。



看護師(わかば病棟)  
つちくら ちか  
土倉 智佳



歯科衛生士  
すずき わたる  
鈴木 渉

フレッシュセミナーに参加して、仏法の自利利他の精神に基づく安心・満足の医療を、真生会が目的としていることを詳しく教えて頂きました。

こんな病院は二つとないと感じると同時に、先輩方と協力してこの目的を果たすために、もっと自分が成長し向上しなければならぬと知らされました。またまだわからないことばかりですが、昨日よりは今日、今日よりは明日という心がけで、一日一日精一杯がんばっていききたいと思います。

## 真生会富山病院理念

仏法に説かれている自利利他の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

自分の利益しか考えないことを我利我利と言います。我利とは、我(われ)の利益。つまり、他人を押しつけてでも、自分だけ得をしようとすることを我利我利と言います。他人はどうぞでもよい、自分だけが儲けよう、自分だけが幸せになろうとすることを言います。しかし、我利我利の根性では、他人どころか、自分さえも幸せになれません。仏

法の精神は、自利利他です。自利とは、自分が幸せになること。利他とは、他人を幸せにすること。他人に親切にする、他人を幸せにするままだ、自分の幸せとなって返ってくるということです。

私達は、相手も自分も、共に幸せになる自利利他の精神で、安心と満足をお届けできる医療をめざします。

## 地域医療最前線

# 医療連携で地域を支える 開業医訪問



内科・胃腸科・呼吸器科  
放射線科・小児科・検診

## 松本 邦彦

院長 松本 邦彦  
放射線科専門医・医学博士



射水市三ケ3268 TEL0766-55-0057

診療時間／平日 AM 9:00～12:00  
PM 15:00～18:00  
(火曜のみ PM 15:30～)

休診日／日曜・祝日 木・土曜日午後

る状況を、病院と診療所という建物で結びつくのではなく、互いの立場を尊重し、協力していける真生会富山病院の先生方との連携こそ大切なのです。」と、日々の診療に取り組んでいる。

ある当番医の日曜日。ひどくせき込んで苦しそうな子ども、手、足に発疹が出来てかゆそうにしている子どもを抱えて診察に来たお母さんは、「いつも献身的に診察してもらっているから。」とニコニコ

り。当番医の松本先生は、「ときばきと診察にあたる。多くの患者さんで息つく間もない。」

「患者さんの元気な顔を見たいから集中できる」と笑顔と安堵な表情を見せる。院内では、平成2年から始めた勉強会が、週5回のペースで続けられている。症例の検討から医療情報、経済問題など関心のあるテーマで勉強会を重ね、もうすぐ2000回の成果である。各自が自由な問題意識で活動することができ、結果的に医院全体のレベルを向上させることに結びつけ、まだまだ勉強会は続く。

松本医院は、すべての患者さんを受け入れ、満足な医療を提供するためには病診連携が不可欠と考え、平成10年、真生会富山病院と開業医や診療所の連携を図ろうと話をもちかけ、地域の病院と診療所がそれぞれの機能を分化して担当することにより、地域完結型医療を実現する「病診連携」の形ができた。「今では、富川クリニックの富川先生、渋谷クリニックの渋谷先生を始め、他の開業医の先生方も連携している。地域の患者さんが安全で適切な医療を受けられ

松本先生の、日々の診療に加え、病診連携による地域医療の取り組みや、卓越した知識と先見性は、医師会の世話人としても高く評価されている。放射線科で脚光を浴びながら、開業医に転じてから、地域の患者さんによりよい医療を提供することだけに徹した医師としての人生は、日々淡々と自然体で生きていく強さと、地域に暮らす人達の健康を守っている。

## ちょっと一言

### 安心と満足の医療をめざして事務作業のサポートを

診療支援課

吉田昇平

診療支援課では、医師の事務作業のサポートを行っています。

インフォームドコンセントやEBM(根拠に基づいた医療)など医療の要求が高まるほど、医師への負担は大きくなります。医師の激務は医療崩壊の一因にもなっています。

最近では、医師以外による文書の作成補助やカルテの代行人力が厚生労働省から推進されるなど、私たちの行っている業務が注目を集めるようになってきました。安心と満足の医療をめざす一員として、皆さんの期待にお答えできるよう頑張りたいと思います。



## リレー 私のおすすめ SPOT



食膳課  
よねぐち えりか  
米口永史香

私のお勧めのお店は「割烹かわぐち」です。手軽にランチが味わえることは知っていましたか？火曜日から金曜日のお昼に、なんと1050円でおつくり・煮物・焼き物・酢の物・サラダが楽しめます。ちょっとしたミニ懐石!!

この値段でこれだけ食べられるなんてうれしいですよ。先日、ゲンゲのから揚げを食べましたが、げんげは私の中の食わず嫌いの一品でした。しかし、あまりにも美味しく、カリッ!と香ばしくてビックリしました。魚は見かけじゃないと反省した瞬間でした。ゲンゲのペロペロだってコラーゲンたっぷり、美肌づくりに最高ってこともすっかり忘れてました。

この店は射水市に来る有名人、著名人が現れるところとして有名です。有名人とバッタリ……な～んてこともあるかもしれませんね。



「素材本来の味こそが海の幸」と、ときどきの魚たちをきときとに、『割烹かわぐち』主人の川口外幸さん。地元はもちろん、県外のお客様も多く、お昼にお友達と、大小宴会、大切なお客様の接待に、カウンター、個室など、思いのままにゆったりと、楽しいお食事を心ゆくまで味わえます。

## 割烹かわぐち

射水市中央町19-31  
Tel 0766-84-1331

- 営業時間／午前11時30分～午後2時  
午後5時～午後9時
- 定休日／月曜日
- 駐車場／20台、大型バス駐車可





## 診療案内

### 診療科

内科・消化器内科・呼吸器内科  
神経内科・小児科・外科・整形外科  
耳鼻咽喉科・皮膚科・眼科・心療内科  
精神科・泌尿器科・麻酔科  
リハビリテーション科・放射線科・歯科

### 診療日・外来受付時間

平日 午前7時30分～午前11時30分  
(診察は午前9時から)  
正午12時～午後7時30分  
(診察は午後5時から)  
専門外来 午後2時～午後4時(予約制)  
土曜日 午前7時30分～正午12時  
(診察は午前9時から)  
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後  
※休診時間帯は当番医師が待機しております。

24時間救急診療

全科往診在宅診療

保険証は、毎月提示をお願いしています。必ずご持参ください。

### 院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としてあります。当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとってください。

## 24時間救急診療のご案内

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気に対し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。

平日 午後7時30分から翌朝9時まで  
土曜日 午後12時30分から  
日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話

☎ 0766-52-2156

※来院する前になるべくお電話を。  
※保険証は忘れずお持ちください。



業務の様子

## 視能訓練課

患者様に満足を提供する眼矯正のプロ集団

私たち視能訓練士は、この度「視能訓練課」として新しくスタートをきることとなりました。その背景には、来年のアイセンター開設に向け、当院眼科における視能訓練士の需要がますます高まり、年々増員の一途をたどっていることにあります。ただ、「視能訓練士」と言っても、まだまだ知名度が低くご存知ない方も多数おられるかと思っております。「視能訓練士」とはいったいどんな仕事をしているのか？簡単に紹介したいと思います。

視能訓練士とは、眼科医師の指示のもとで、患者様の目の機能障害を改善させる知識と技術をもった眼矯正の専門家です。視能訓練士の仕事は、大きく2つに分けられます。

ひとつは、医師が正確に病気の診断と治療をするために、光学検査機器を操作して患者様の視力・視野・色覚・眼圧・眼球運動・眼底写真撮影などの検査を行うことです。

もうひとつは、弱視や斜視などの視覚障害をもつ人に対して機能回復のための矯正訓練を行うことです。

特に弱視・斜視に関しては、視能訓練士にとって専門分野であり、その役割は重要であると考えております。

そのため、自分たち視能訓練士は、一人一人がプロとしての意識・プライド・責任をしっかりと持ち、日々の業務を遂行していきたいと思っております。

また、どうしても患者様に楽になって頂けるといふ思いを常にもち、ニーズの把握に努め、知識・技術の研鑽に努めていきたいと思っております。

「視能訓練課」は、患者様に満足して頂ける医療を提供するという同じ目的で、ひとつにまとまるとともに、受け入れ体制をしっかりと整えていきたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



視能訓練課スタッフ

## より日常生活に近い環境を 入院患者様専用の「インターネットスペース」でサポート

ベッドサイドでテレビはもちろん、インターネットを使ってショッピングを楽しんだり、メールでお友達と会話をしたり、入院患者様が日常に近い快適な環境で過ごすための生活アメニティをサポートします。

わかば病棟(3階)、さくら病棟(4階)のデイルームで入院患者様がご自分のパソコンを当院専用ケーブル(無料で貸し出し)で接続すれば、午前9時から午後9時まで、インターネット閲覧、メールの送受信ができます。

入院患者様専用ですのでお見舞いの方、外来患者様はご利用できません。(当院でのパソコンの貸し出しは行っていません。)



## 新規事業拡張につき スタッフ募集

正看護師 … 10名

保健師 … 若干名

視能訓練士 … 若干名

臨床工学技士 … 若干名

歯科助手 …… 1名

●院内保育施設あります。  
応募資格/免許有資格者(歯科助手以外)  
(取得見込み者を含む)

※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

●スタッフ募集に関するお問い合わせ  
TEL0766-52-2156 人事担当/吉田